

# 『カイロス』！

令和4年6月21日(火)

校長 南波 聡

梅雨本番ですね！ みなさんにとって1日という時間は長く感じますか、短く感じますか。1週間や1学期は長く感じますか短く感じますか。南波校長の話はどうでしょうか。

日々、私たちがごく自然に使っている1時間や1分という時間は、現在から未来へと時計で計ることのできる「クロノス」とよばれる「時間」です。一方で好きなことに熱中している時間や、大切な人と過ごす時間は短く感じ、その反対は長く感じます。このような時間を、「カイロス」とよびます。

みなさんは、今、どんな時間を過ごしていますか。喜びに満たされた時間ですか、悲しみや不安のまっただ中ですか。時間が経つのが早いですか、何かが待ち遠しいですか。早く過ぎればと願うことはありますか。

もちろん誰でも楽しくて早く過ぎる時間をいつも感じたいですよ。しかし、大切な人と出会ったり別れたり、つらいことがあったり、難しい決断を迫られることもあるでしょう。みなさんの思いも止まることのない「クロノス」のなかで、様々な「カイロス」を感じながら刻一刻と変化しているはずですよ。

「クロノス」の中を過ごす私たちにとって、一つひとつの出来事が皆さんにとって幸せなものとなりますように。みんなですてきな「カイロス」を感じるよう、お互いで何かができますように。そんな島原翔南高校でありますように。

話が悪しき「カイロス」にならぬように、南波が怠けませんように。  
梅雨の時期、みなさんが無事でありますように。